

独立行政法人工業所有権情報・研修館の沿革

明治17年（1884）	6月	農商務省工務局内商標登録所図書係で図書の閲覧、商標見本の観覧開始。 明治18年（1885）4月から、特許明細書等の観覧開始。
明治20年（1887）	12月	農商務省特許局庶務部内に図書館を設置、その分掌として「陳列所」を設置。
大正 7年（1918）	1月	図書館に陳列館を併設。
大正13年（1924）	12月	図書館を廃止。陳列館に統合。
昭和16年（1941）	5月	特許局出願課内に「出願相談所」を開設。
昭和27年（1952）	8月	「陳列館」を「万国工業所有権資料館」と改称。
昭和61年（1986）	10月	「総合資料DB」（紙公報電子化）閲覧サービス開始。
平成 5年（1993）	1月	電子公報（特実CD-ROM公開公報）の利用開始。
平成 9年（1997）	4月	「万国工業所有権資料館」を「工業所有権総合情報館」と改称。 （特許庁において、特許流通促進事業を開始。）
平成12年（2000）	1月	公報閲覧室において、特許電子図書館（IPDL）閲覧サービス開始。
平成13年（2001）	4月	独立行政法人「工業所有権総合情報館」として新たなスタート。 特許流通促進事業を特許庁から移管。
平成16年（2004）	10月	独立行政法人「工業所有権情報・研修館」と改称。 情報提供業務、人材育成業務等を開始。
平成18年（2006）	4月	非公務員型の独立行政法人に移行。 第二期中期計画スタート。
平成19年（2007）	1月	情報システム業務等を開始。 シンボルマークを「INPIT」（インピット）へ変更。
	11月	特許流通促進事業による成約件数の累積が1万件に。

